

市政の窓



No.85

さあ、出掛けよう!

今年の冬は東北・北海道の北国では豪雪に見舞われ、関東の寒さも厳しいものでしたので、桜の開花時期が気になっておりましたが、3月中旬には気温が上がり、全国で桜の開花が例年より4〜5日早く宣言され、今年の桜の見頃は早まりそうであり、入学式の代名詞である「校門の満開な桜」を少々心配するところであり、皆さんも好きな花木があるうかと思いますが、私は市役所庁舎と八日市場ドーム間の東側駐車場の満開になった一本桜の姿が一番好きであります。皆様も

頃合いを見ておいていただきご覧くだされば幸いです。毎年4月第1日曜日にお招きいただく中央地区米倉の葦茅神社祭礼が本日開催されます。春の訪れと農繁期を告げ、五穀豊穰・商売繁盛、家内・交通安全などを祈願し、大神輿がおはやしと共に町内を練り歩きます。是非足を運びご声援ください。

そして、第2日曜日は野栄総合支所前の「のさか花の広場」で、第22回そうさチューリップ祭りの式典が行われます。球根オーナーの方々のご賛同と地元ボランティアの皆様や野栄中学校生徒さんのご協力により

年々盛んになっており、匝瑳市の春の風物詩の一つであり、見頃は式典日前後で4月中旬まで続くと思われ、観賞と心のリフレッシュをしてはいかがでしょうか。今回は本格的な春の到来に当たり、お出掛けのご案内となりましたが、奮ってご参加いただくとともに、皆様のご健勝を祈念させていただきます。

追伸ですが、「匝りの里」で八社参りの「長路コース」がスタートしました。この季節は絶好の散歩日和ですのでトライしてみはいかがでしょうか。

匝瑳市長 太田安規

図書館だより

休館日…5日(木)・毎週月曜日
祝日開館日…29日(日) 9時~17時

★児童コーナーへどうぞ

八日市場図書館の奥に、児童向けの本を集めた、ゆっくりと読書ができるコーナーがあります。一角には、大人も子どもも靴を脱いで絵本を楽しめる『おはなしのへや』も。

動物の足跡をたどって、児童コーナーへおいでください。

★“特別なおはなし会”を開催します

子どもの積極的な読書活動を推進するため、毎年4月23日が「子ども読書の日」と定められています。

これにちなんで、図書館では、特別なおはなし会を開催します。大型絵本やパネルシアターなどで、楽しく過ごしましょう。参加は無料です。

日時…4月21日(土) 14時~14時45分

場所…八日市場公民館市民ギャラリー

対象…1人で静かに話を聞くことができる4歳から小学校3年生くらいまでの児童

★4月のおはなし会

場所/日時…①八日市場図書館/毎週土曜日(21日を除く) 14時~ ②のさか図書館/28日(土) 10時30分~ ※時間はどちらも30分程度で、参加無料です。

問八日市場図書館 ☎73-3746(17時まで)

文芸コーナー

短歌

われの背に膏葉貼るる広き手の夫は静かに古希を迎えつる

安久山 木下 昌子

米寿となり残る命はわからねど人の心にきずつけぬよう

平木 大木ヨシ子

如月の澄む大空の天体シヨウ月隠したる闇と褐色

若潮町 伊藤登美枝

久びさに尋ね来し友若き頃の遍路の旅を懐かしく語る

椿 日色 和江

厳冬に梅の蕾も堪えしかひと月遅れの咲くを待ちわぶ

西小笹 伊藤 英子

吹く風もどこか春めく鎌倉よ空にゆったり鳶は輪をかく

長谷 宇野とし子

夜更けまで冬季五輪を見る妻は何故か正座で返事もうつろ

南神崎 大木 洋一

川口 城司 推薦

門に置く追儺の笹にくくりたる鱒の頭を鴨がついばむ

栢田 渡辺 重雄

生け垣の緑の中にもほつと紅色侘助庭をいろどる

野手 石田 秀子

憂きことも哀しきこともなべて消え眠りに落ちてひと日終りぬ

今泉 小川みさ子

感想戦いつも笑顔の中学生将棋の世界を拓いて歩む

栢田 石田 治

俳句

八木 佐久司 推薦

啓蟄や小学生の菰外し

八日市場八 大川 宣子

西国供養塔

平木を歩く

江戸時代中ごろからこの地域からも遠近の寺社などにお参りする者があり、その記念に立てた巡拝塔・巡礼塔を見ることが出来ます。

境内の桜がきれいな平木(平和地区)・観音寺の墓地の入り口に、高さ130cmほどの西国供養塔があります。

正面に「西国供養塔」と大きく彫られ、側面や基壇部(石塔の下部)には細かい文字が刻まれています。西国とは、近畿2府4県と岐阜県に点在する33か所の観音霊場のことです。多くの観音霊場の中で最も古い歴史を持つとき



平木・観音寺境内に立つ西国供養塔

れますが、遠くにあるためか市内ではその巡拝塔も多くありません。

市内で見られる巡拝塔は、山形県の出羽三山、埼玉県の秩父観音霊場、関東地方の坂東三十三観音、日光(栃木県)、善光寺(長野県)などがあります。それぞれ単独の巡拝塔もあれば、西国・坂東・秩父の百観音と出羽三山を一つの塔にまとめたものなども見られます。

観音寺境内の塔は西国だけをまつり、そこに刻まれた文字から次のようなことが知られます。

造立は1835(天保6)年で、巡礼した人の三回忌に当たります。観音寺の本尊は、長谷寺(第8番札所・奈良県)を模したとされることから巡礼に出たのかも知れません。

遠隔地をお参りした人の供養のため、基壇部に見られる平木村の山、中才、糀内などと近隣の荻野村、登戸村の石毛、川口、椎名、増田姓の三十数人が立てたのでしよう。

西国供養塔はもう1基、東小笹(共興地区)・慈眼寺境内にもまつられています。これは、1847(弘化4)年に東小笹村の熱田、江波戸、佐藤、塚本姓と野手村(野田地区)の熱田姓の三十余人により立てられました。いずれも姓が刻まれていることから村内でも裕福な農民だったと考えられます。

江戸時代の農民たちの生活の一端をこれらの石造物から知ることが出来ます。幸いにして地域の寺院や神社境内に立てられたため、40年ほど前に調べた時のままの状態でも保存されていました。

(市文化財審議会委員・依知川雅一)

関秘書課広報広聴班

☎73・0080

力作 募集

あて先：匠瑳市秘書課広報広聴班

〒2809-2198

匠瑳市八日市場ハ793番地2

☎73・0080 FAX72・1114

※作品は選者により添削することがあります。

たまさかの友の電話に遠蛙

まだ睡き蛙を掘りて詫びてをり

鳥帰る解体となる大藁屋

小綬鶏の声に里山目覚めけり

松原を過ぐれば春の遠岬

じゃが芋を植える農夫の髪白し

白酒を試飲の人と話し込む

好物の初の露味嗜供へけり

数の子を嘔む音かくも悲しきか

手をつなぐ足元照らす花篝り

若潮町 光瀬甲江子

内山 椿 和枝

横須賀 岩井 やす

若潮町 最上 峻

八日市場イ 椎名 晴江

八日市場口 高安せい子

大浦 江波戸廣子

栢田 伊藤 定子

栢田 櫻井富美雄

今泉 須貝 玉枝

川柳

鈴木 十世志 推薦

耐寒のマラソン走る子供たち

駅伝の孫見て爺も走り出し

はつらつとシルバーカーで卒寿過ぎ

シニア向け婚活するも詐欺に遇う

女子高生くつ下いらず白い足

澆刺とラジオ体操地域の輪

登校する子等に挨拶みな元氣

好きになりイイヨと笑う四月馬鹿

堀川 勝又 康之

飯高 林 サダ子

横須賀 鈴木 春子

東小笹 江波戸京子

木積 佐久間美智子

八日市場ホ 大木波津恵

八日市場イ 常世田やす子

飯高 松野 敏昭

川口 城司 推薦

ピンコロのためならヒップホップでも 栢田 石田 津